

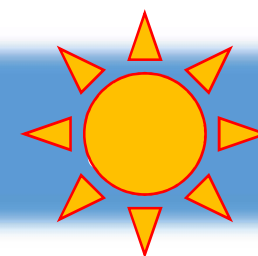


みゃ〜く使ひ

〜宮古家畜保健衛生所〜

令和3年7月発行
 沖縄県農林水産部
 宮古家畜保健衛生所
 宮古島市平良字西里1951
 TEL (0980) 72-3321
 FAX (0980) 72-6673

暑熱対策はできていますか？



7月に入り、暑い日が長く続いています。暑さ対策をしっかりと行い、少しでも快適に過ごせるようにすることで、皆さんの財産である家畜を守りましょう。

牛 水分・塩分の補給

- いつでも新鮮な水を飲めるようにする（できれば冷水）
- ビタミンやミネラルを与える（鉍塩やザラメで補給できる）

畜舎 屋根・壁に断熱材の設置・塗布または散水

- 石灰を溶かしたものを屋根に吹き付け、日光を反射させる
- 畜舎のそばにグリーンカーテンを設置するのも効果あり
- 畜舎の屋根や周囲に散水・放水し、温度を下げる

注意

残飼が多い、飼槽が濡れるほどのよだれ、口を開けて早い呼吸をするなどの熱中症の初期症状には、冷水を飲ませる、送風して冷やすなど早めに対処し、獣医師の診察を受けさせましょう。

台風の時期がやってきます〜早めの対策を取りましょう〜

台風の被害は主に

「トタン屋根の破壊」「家畜の死亡やケガ」「サイレージの破損」です

★トタンは飛ばないように補強

- ・ 屋根が飛ばされると雨風によって家畜が衰弱し、最悪死ぬことも
- ・ 飛来したトタンは大変危険であるため、家畜が怪我をすることもあります

★サイレージは乾燥庫または1か所にまとめてロープで縛る

- ・ 500kgの大きなサイレージも転がります
 →ラップが破れ、水や空気に触れると腐ったり、カビが生え、使用不可になります

台風対策は風が強くなる前に行い、被害を最小限にとどめましょう！



みつばち ふそ 蜜蜂の腐蛆病検査について

家畜伝染病予防法第5条第1項の規定に基づく蜜蜂の腐蛆病検査は、これまで県外出荷（販売）蜜蜂を対象に検査を行ってきましたが、平成26年度から、県全体の清浄性を確認するため、検査対象を農場で飼養する蜜蜂に変更しました。

なお、県外出荷（販売）蜜蜂に対する腐蛆病検査および陰性証明書の発行を希望する場合には、出荷2週間前までに家畜保健衛生所までご連絡ください。

検査対象

家畜保健衛生所長が定める蜂場で飼養される蜜蜂

定期検査

- ・原則、年1回
- ・検査手数料：70円/群
- ※検査証明書を希望する場合は、別途400円/件

検査方法

- ・臨床検査
- ・細菌検査（必要と判断した場合のみ）

ただし、県内で腐蛆病が発生した場合は、家畜伝染病予防法第32条に基づき、県の範囲を超える蜜蜂の移出入には腐蛆病検査が必要になります。

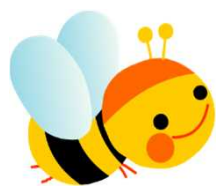
農家さんへお願い



養ほう振興法第3条に基づく飼育届を提出してください。
飼育開始時および毎年1月に、住居地のある市町村に提出お願いします。趣味で蜜蜂を飼育する場合を含む、全ての飼育者が対象です。



家畜保健衛生所の実施する腐蛆病の定期検査（家伝法第5条）を受けてください。



飼養する蜜蜂に対して適切な衛生管理をしてください。
病気から養蜂場を守るには、蜂群をこまめに観察し、病気の早期発見と拡散防止に努めることが大切です。腐蛆病等の自主検査や出荷（移動）等の記録をしましょう。

蜜蜂に異常があれば家畜保健衛生所に通報してください。
伝染病の疑いがあると判断した場合には、家畜防疫員が立入検査を実施します。

宮古家畜保健衛生所：☎ 7 2 - 3 3 2 1

異常産の予防接種をしましょう！

妊娠牛がウイルスに感染すると、流産、異常産（体形異常を持った子牛）が生まれる可能性があります。

- 異常産は治療法がなく、子牛の価値が失われるため、大きな損害となります。
- 代表的な原因ウイルスに、アカバネ病ウイルス、アイノウイルス、チュウザンウイルスがあります。



- ・ 予防接種について：
アカバネ病生ワクチン … 900円
※ 3種混合不活化ワクチン … 1,400円

※ 予防できるウイルス：アカバネ・アイノ・チュウザン
 ※ 初めての場合は、1ヶ月後に2回目の接種が必要

・ ワクチンの効果：1年間
 → ウイルスに対する免疫が低い若齢の母牛(**未経産～3産程度**)は**予防接種を毎年**することをおすすめします。

- ・ **接種対象外の牛：**
分娩1ヶ月前、妊娠鑑定前(種付け後1ヶ月以内)、治療中

**接種日：月1回
第2水曜日**

予防注射の申し込みは、
宮古島市畜産課へ
 (TEL：79-7814)

問い合わせは、
宮古家畜保健衛生所まで
 (TEL：72-3321)

牛の異常産や異常産ワクチン接種について 皆様に知ってほしい2つのこと

1 異常産ワクチンは、子牛という貴重な財産を守ることに貢献します！

1.1 異常産ワクチンのメリット・デメリット

メリット	デメリット
アルボウイルス感染症の予防	まれに副反応
	コスト (900円/頭または1400円/頭)

- 異常産は感染症・栄養障害・中毒・遺伝病などで引き起こされ、そのリスクは1%程度とされています。
- 牛異常産ワクチンの副反応（アナフィラキシーショックなど）の報告は、ほとんどなく、安全性の高いワクチンです。
- 平常時の異常産リスクは1%ですが、感染症の蔓延により、異常産のリスクが10%に上昇する可能性があるという報告もあります。

1.2 異常産ワクチン接種で得られること・接種しないことで損するリスク

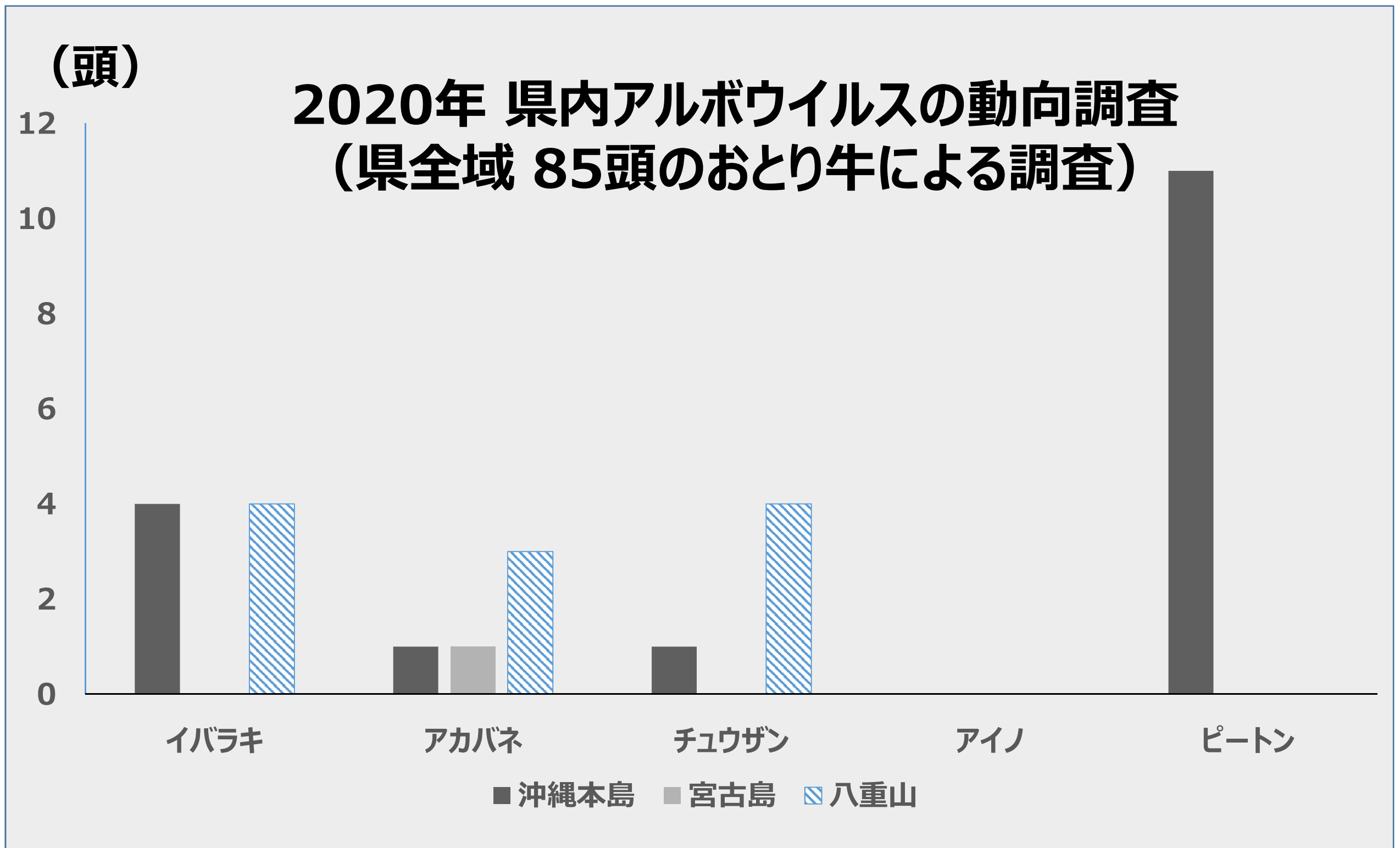
接種で得られること	接種しないことで損するリスク
異常産リスク上昇を抑制できるため、セリでの利益を確保できる	異常産リスク上昇で子牛失い、セリでの利益が減る
母牛の分娩事故リスクが低減される	母牛を失う

- アルボウイルス感染による異常産が大流行した1972・1975年では、日本国内で数万頭の牛が失われ、損害総額は当時の金額で50億円とされています。
- 2005-7年に九州地域で流行が見られた際には、約250頭の牛が失われました。
- 異常産は母体への負荷が大きいため、分娩事故で母牛を失うこともあることから、経済的損失が大きくなるリスクがあります。

異常産リスクの上昇で子牛を失い、セリでの利益が減ることを考えた場合、ワクチン接種は効果的です。

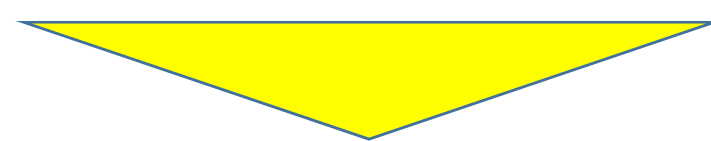
牛の異常産や異常産ワクチン接種について 皆様に知ってほしい2つのこと

2 沖縄県全域で異常産を起こすウイルスの侵入が確認されています！



**沖縄県全域で異常産を起こすウイルスの
侵入が確認されました。**

いつでも宮古島にウイルスが侵入し、
異常産のリスクが上がる可能性があります！



**ワクチン接種で
異常産のリスクが軽減されます！**

もっと異常産ワクチンについて
知りたい方は



宮古家畜保健衛生所
(TEL: 72-3321)

家畜保健衛生所で
凍結精液
販売中

驚異の平均BMS No. 8.85!
後代検定歴代最高成績を樹立

みつただひら

美津忠平



生年月日：平成27年5月1日
登録番号：黒原6051 (85.3)
遺伝病：全て正常、赤毛因子不保持

父 — 母の父 — 母の祖父
美津照重 忠富士 安平

歴代最高の枝肉成績で現場後代検定終了！特に雌肥育牛の脂肪交雑に加えてバラの厚さとモモ抜けが良く、オレイン酸に代表される一価不飽和脂肪酸(MUFA)含有率に秀でています。検定用に生産した子牛26頭の増体は去勢と雌の両方◎！歩留まりに優れる為、骨の粗い糸桜系と気高系に交配でき、県内の様々な組み合わせの母体に利用できます。

種雄牛	性別	頭数	導入月齢	体高 (cm)		胸囲 (cm)		体重 (kg)	
				平均	発育値	平均	発育値	平均	発育値
美津忠平	去勢	13頭	8.8	114.9	0.85σ	150.8	0.24σ	247.6	0.40σ
	雌	13頭	10.2	115.1	0.58σ	155.2	0.85σ	309.1	0.72σ

第2回 後代検定研究会出品牛



出品番号 11 (左)
美津忠平×隆之国×福華1 (雌)
生産者：農業大学校
肥育：畜産研究センター
BMS 12、枝肉重量 576 kg、
コース芯 66 ㎡、MUFA 62.7 %

出品番号 6 (右)
美津忠平×百合茂×安福久 (雌)
生産者：平田 力
肥育：もとぶ牧場
BMS 10、枝肉重量 555 kg、
コース芯 82 ㎡、MUFA 65.0 %